

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しました。福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和5年4月21日

学校名 福井市殿下小中学校

校長氏名 小 辻 省 一

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 殿下地区の自然環境を保全するように努めます。
- ② 電気や水などの資源を大切に使います。
- ③ ゴミを減らし、リサイクルに努めます。
- ④ 植物を育てることを通し、生き物の命の大切を学びます。

2 取組内容

- ① 自然環境の保全
 - ・稲作、野菜作り、じゃがいも作り、みつばちの巣箱のオーナーとなつての養蜂体験学習、大味川水系の生き物の観察等を通し、植物や動物の生態を学んだり、収穫時の喜びを味わったりすることで、殿下地区の豊かな自然環境を保全しようとする意識を高める。
 - ・クリーン作戦において、地域の側溝の清掃を実施し、地域の方と共に自然環境を保全する。
- ② 節電・節水の取組
 - ・ポスターなどの掲示物を工夫し、節電・節水に対する意識を高める。
 - ・放送によりISO実施（電気、水、ゴミ等に関する内容）の呼びかけをする。
- ③ 地域と連携したりサイクル活動
 - ・毎週火曜日をアルミ缶回収の日と定め、月曜日に児童生徒に協力を呼びかける。また、公民館にアルミ缶回収ボックスを設置し、地域の方にも広く協力を呼びかける。月末には計量し、グラフ化して掲示し、児童生徒の意識を高める。
 - ・PTAや地域と連携して資源回収（年2回）を実施し、古紙・ダンボール等を回収する。
- ④ さつき栽培活動
 - ・各自がさつき一鉢を担当し、水やりや剪定などの世話を責任をもって行い、次世代に鉢を引き継いでいく。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載して下さい。)

- ①のクリーン作戦では、地域のために主体的に活動に参加しようとする態度を身につける。
(進んで参加する態度)

福井市学校版環境ISO 実施報告書

| | |
|---|--|
| <p>学校名</p> <p style="text-align: center;">殿下小中学校</p> |  |
| <p>1 今年度の目標（学校の約束）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 殿下地区の自然環境を保全するように努めます。 ② 電気や水などの資源を大切に使います。 ③ ごみを減らし、リサイクルに努めます。 ④ 植物を育てることを通し、生き物の命の大切を学びます。 | |
| <p>2 取組内容</p> <p>① 自然環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月に県の環境アドバイザーを招き、学校近くの大味川水系で生き物観察会を実施し、身近な自然について学びました。 ・ 今年度から、みつばち巣箱オーナーとなり、定期的みつばちの生態を観察し、周囲の自然環境について学ぶことで殿下地区の豊かな自然を守り続けようとする意識を高めました。 <p>② 節電・節水の呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集会やお昼の放送で、全校生に節電・節水を呼びかけました。 <p>③ 地域と連携したりサイクル活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月と11月に、PTAや地域と連携して地区内の資源を回収しました。 ・ 平和会で、毎週火曜日をアルミ缶回収の日と定め、各家庭からアルミ缶を持ってくるよう呼びかけました。毎月の回収量をグラフ化し、子どもたちの意識向上を図りました。 <p>④ さつき栽培活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全児童生徒が1人1鉢を担当し、さつきの水やりや剪定などの世話をを行い、大切に育て次世代に引き継ぎました。 |  |
| <p>★ E S Dポイント（取組内容の内、1項目についてE S Dの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）</p> <p>③地域と連携したりサイクル活動では、児童生徒が自分たちにできる活動を企画し、地域のために主体的に活動に参加しようとする態度を身につける。</p> | |
| <p>3 見直し</p> | <p>【具体的効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地元の川や山で生き物を観察する活動を通し、自分たちにできる地域の自然環境の保全について考え、行動できるようになっています。 ④教科や総合的な学習の時間に、エネルギーや環境に配慮した生活について学んだり、野菜や花木を育てたり、身近な生きものを観察したりする活動を通して、環境保護への関心が高まり、地域を愛する心が育ってきています。 |

【改善点】

- ・ 地域の方や保護者に学校での取組を広報し、協力を呼びかけるとともに、家庭や地域でも環境に対する意識をさらに高めていきたいです。